



2023年1月のタイ景気は国内消費拡大の牽引で引き続き回復基調

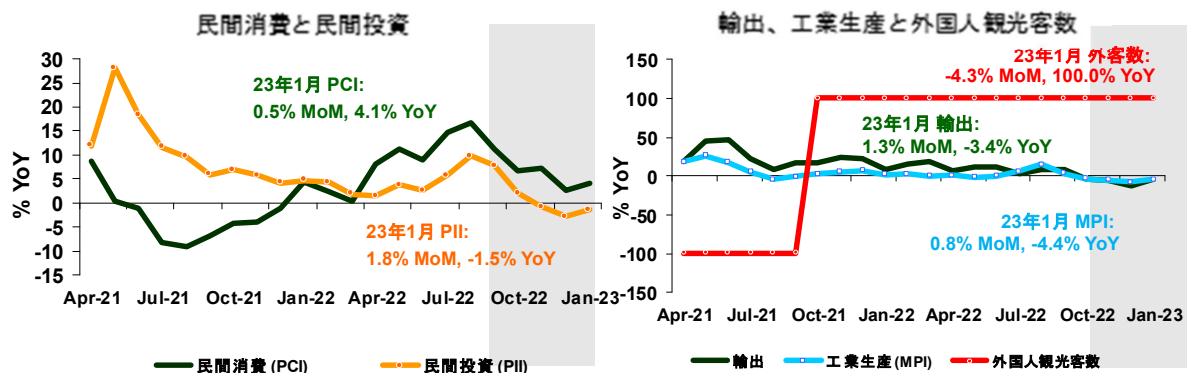
要点

- 2023年1月のタイ経済は緩やかな改善が続いており、民間消費の拡大を背景にタイ経済の回復を牽引しています。しかしながら、外国人旅行者が前月比でわずかに減少しており、また、輸出停滞の要因で製造業の生産や民間投資を下押ししています。
- 2023年2月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比3.79%と前月の5.02%から減速しました。エネルギーや食品価格の伸び率の鈍化により、2022年1月以来13カ月ぶりに3%台まで低下しています。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比1.93%増で、前月の3.04%から減速しました。
- カシコンリサーチセンターは、2023年のタイ市場での電気自動車（EV）の販売台数が5万台に達すると予測しています。2023年の新車販売台数の全体に占めるEVの割合は5.8%に高まる見込みです。
- EV販売台数が伸びる理由としては、タイ政府のEV購入優遇策による需要喚起と、半導体不足の収束による供給量の改善、中国メーカーのEV輸出強化などが挙げられます。中国では、EVを含む「新エネルギー車（NEV）」の補助金政策終了などにより、国内のEV販売が落ち込む中、タイへの輸出圧力が高まる傾向があります。

タイ経済の動向

□ 2023年1月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2023年1月の重要な経済指標によると、タイ経済は緩やかな改善が続いており、民間消費の拡大を背景にタイ経済の回復を牽引しています。しかしながら、外国人旅行者が前月比でわずかに減少しており、また、輸出停滞の要因で製造業の生産や民間投資を下押ししています。



出所: BoT, Ministry of Industry, Ministry of Tourism and Sports

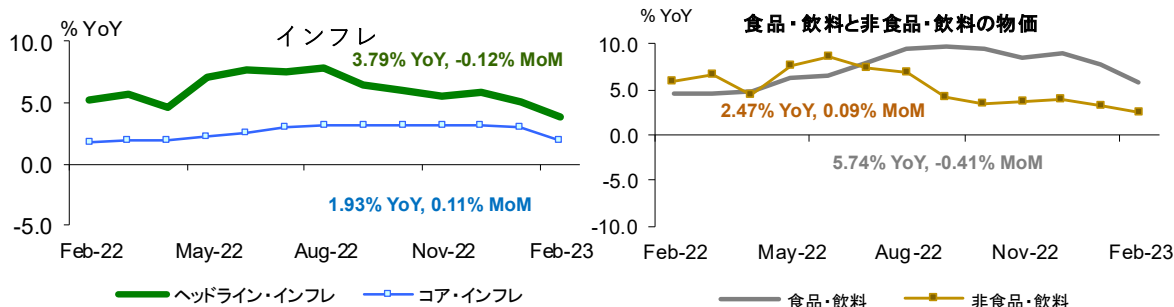
備考: YoY = 前年比; MoM = 前月比

1月の民間消費は前年同月比4.1%拡大し、前月の2.7%から加速しました。サービスが22.7%増と全体を牽引しています。このほか、耐久消費財は0.4%、非耐久消費財が2.8%の拡大でしたが、半耐久消費財は0.9%のマイナス成長となりました。

一方で、民間投資は、前年同月比1.5%下落しました。機械・設備を中心とした資本財の輸入が8.2%減となったほか、商用車の販売が14.7%減となっています。

1月の輸出は、前年同月比3.4%減の203億米ドルとなりました。輸出は主な仕向け地で需要が停滞していることから悪化が続いています。金を除いた輸出額は3.3%減の202億米ドル、金と石油関連製品を除いた場合は1.8%減となっています。

工業生産に関しては、前年同月比4.4%縮小しました。輸出の落ち込みが製造業の業績を下押ししています。一方で、外国人観光客が前月と比べプラス成長からマイナス成長に転じています。



出所: MoC, KResearch

商務省が発表した2023年2月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比3.79%上昇し、前月の5.02%から減速しました。エネルギーや食品価格の伸び率の鈍化により、2022年1月以来13カ月ぶりに3%台まで低下しています。

食品・飲料部門は5.74%上昇しました。果物・野菜が14.79%と最も上昇率が高く、卵・乳製品も9.41%と前月に続き9%を超えています。それ以外では総菜類が4.95%、非アルコールが4.64%、米・粉製品が3.93%、肉・魚が3.92%とそれぞれ4%前後の上昇でした。調味料は1.76%上昇にとどまりました。

一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比1.93%増で、前月の3.04%から減速しています。

2023年のタイ市場でのEV販売台数は5万台に達する見込み

カシコンリサーチセンターは、2023年のタイ市場での電気自動車（EV）の販売台数が5万台に達すると予測しています。2023年の新車販売台数の全体に占めるEVの割合は5.8%に高まる見込みです。

EV販売台数が伸びる理由としては、タイ政府のEV購入優遇策による需要喚起と、半導体不足の収束による供給量の改善、中国メーカーのEV輸出強化などが挙げられます。中国では、EVを含む「新エネルギー車（NEV）」の補助金政策終了などにより、国内のEV販売が落ち込む中、タイへの輸出圧力が高まる傾向があります。

中国メーカーのタイのEV市場におけるシェアは、2022年の78%から85%に高まると予測します。一方で、新規参入が増えることでEV販売競争が一段と激化することが予想されます。

タイ市場で生き残るのは、強いブランド力があり、アフターサービスに投資し、修理や交換部品の提供が早い信頼性におけるメーカーになるでしょう。

監修：カシコンリサーチセンター

本資料は情報提供を唯一の目的としており、ビジネスの判断材料とするものではありません。掲載されている分析・予測等は、資料制作時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、予測の妥当性や正確性が保証されるものでもありませんし、商業ないし何らかの行動の為に採用することから発生した損害の責任を取れるものでもありません。本資料の予測・分析の妥当性等は、独自でご判断ください。